

Project

プロジェクト

10月号

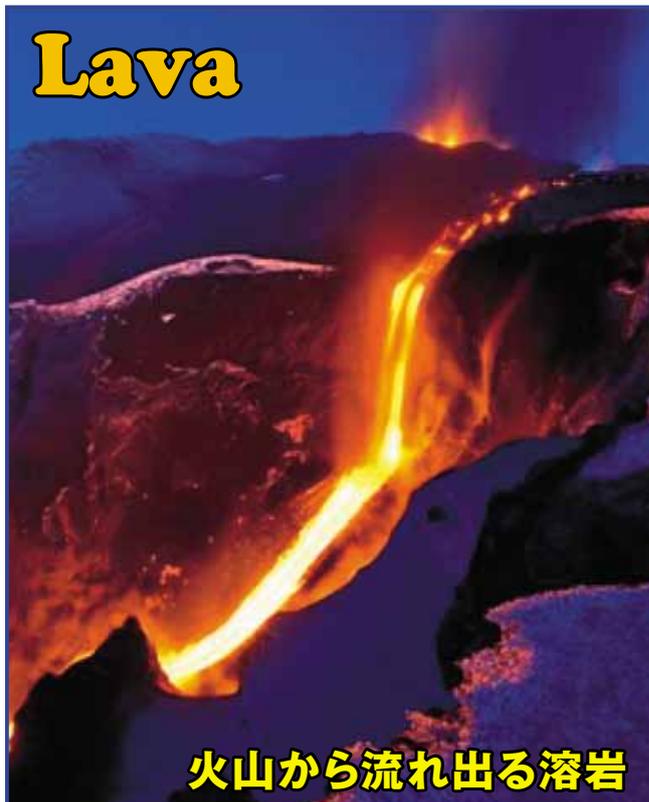
放射線タウン情報

2017.10.1発行 No.17

【編集発行】

南相馬市健康づくり課

☎0244-24-5381



Lava

火山から流れ出る溶岩

ウラン238やカリウム40などの天然の放射性物質は、宇宙の誕生と同時に生まれました。放射性物質は放射線を出すことで、その量は時間の経過と共に減っていきませんが、半分までに減る期間(半減期)が、ウラン238は45億年、カリウム40は13億年と長いので現在も地球上に存在しています。溶岩の中にはこれらの天然の放射性物質が比較的多く含まれています。

溶岩が冷えてできた花崗岩

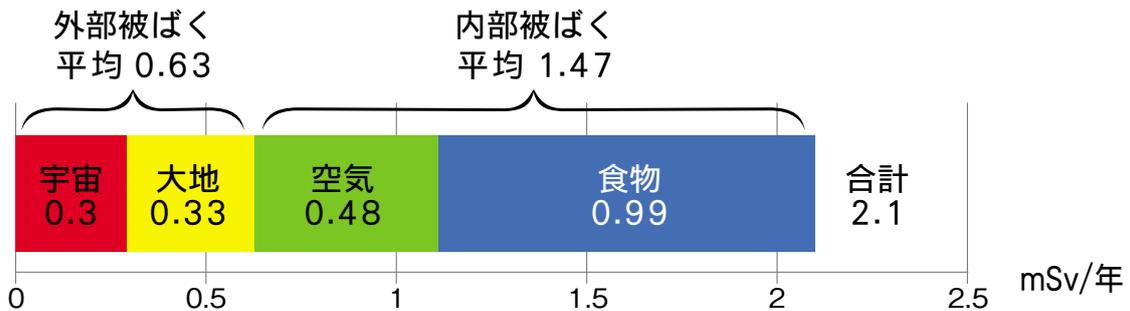
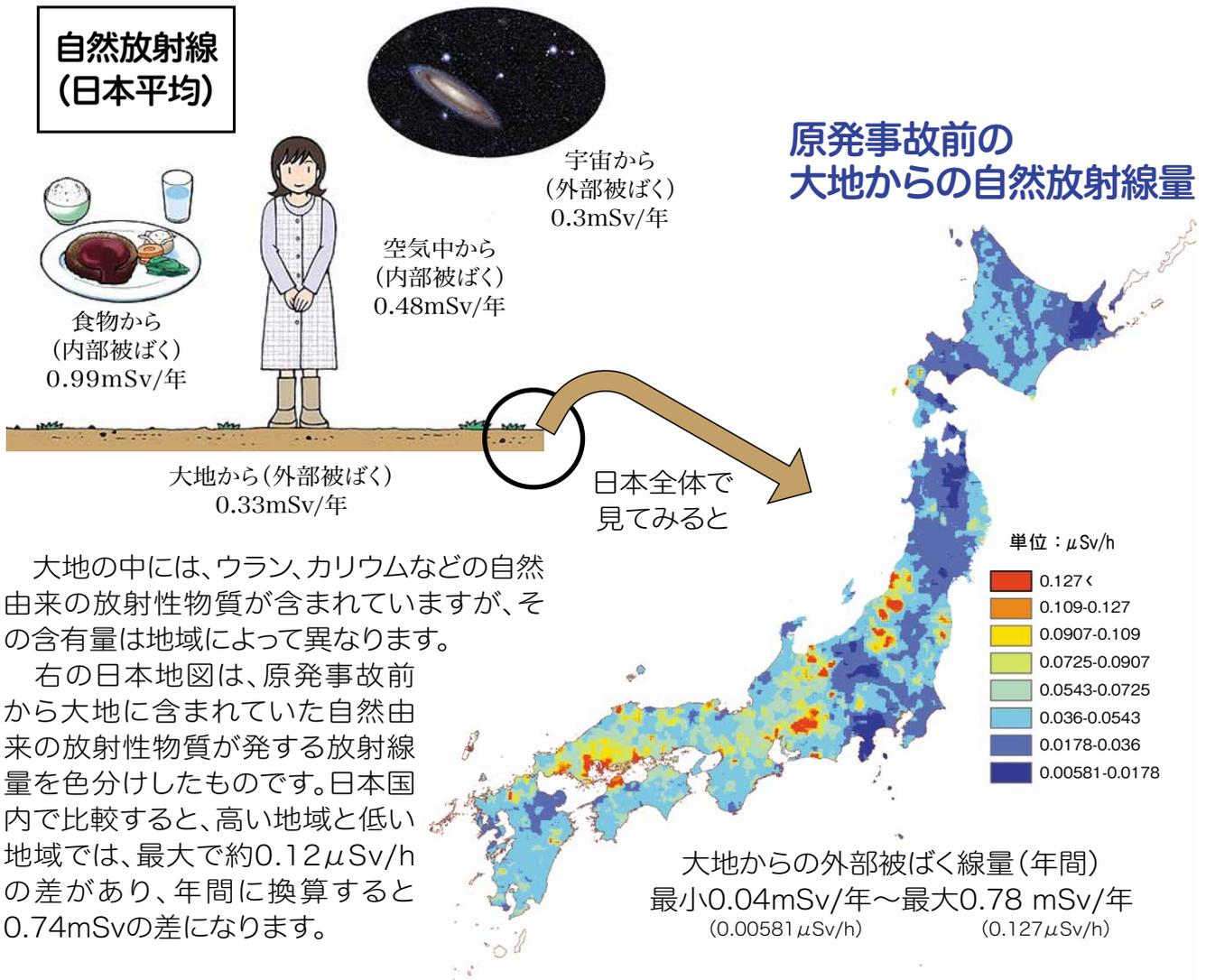
花崗岩(かこうがん)は、御影石(みかげいし)とも呼ばれており、非常に頑丈な岩石です。このため、日本では古くから石材として利用されてきました。花崗岩は、学術的には、溶岩が冷えて固まってできる「火成岩」に分類されます。このため、花崗岩は、他の岩石と比べて比較的、天然の放射性物質を多く含んでいます。日本全体で見ると花崗岩の分布も均一ではないため、大地からの放射線量にもばらつきがあります。

自然の大地からの
放射線

花崗岩

原発事故前の 自然界から受ける放射線量

私たちは、福島第一原子力発電所の事故前から自然界の放射線を受けており、量にすると日本人の平均で年間2.1mSvの線量を受けていました。2.1mSvの内訳は、外部被ばく線量が0.63mSv、内部被ばく線量が1.47mSvになります。



原発事故前の外部被ばく線量について、宇宙からの外部被ばく線量を0.3mSv/年で一定と仮定すると、日本の外部被ばく線量は、最少値0.34(0.3+0.04)mSv/年から最大値1.08(0.3+0.78)mSv/年の間にあります。

ほかの地域の外部被ばく線量はどれくらい？

同時期に4市で外部被ばく線量を測定

この度、原発事故の影響をほとんど受けていない

- ①岐阜県多治見市
- ②富山県南砺市
- ③広島県福山市

に協力をいただき、この3市と南相馬市の4市で同時期に職員にDシャトルを身に付けてもらい放射線量を測定しました。

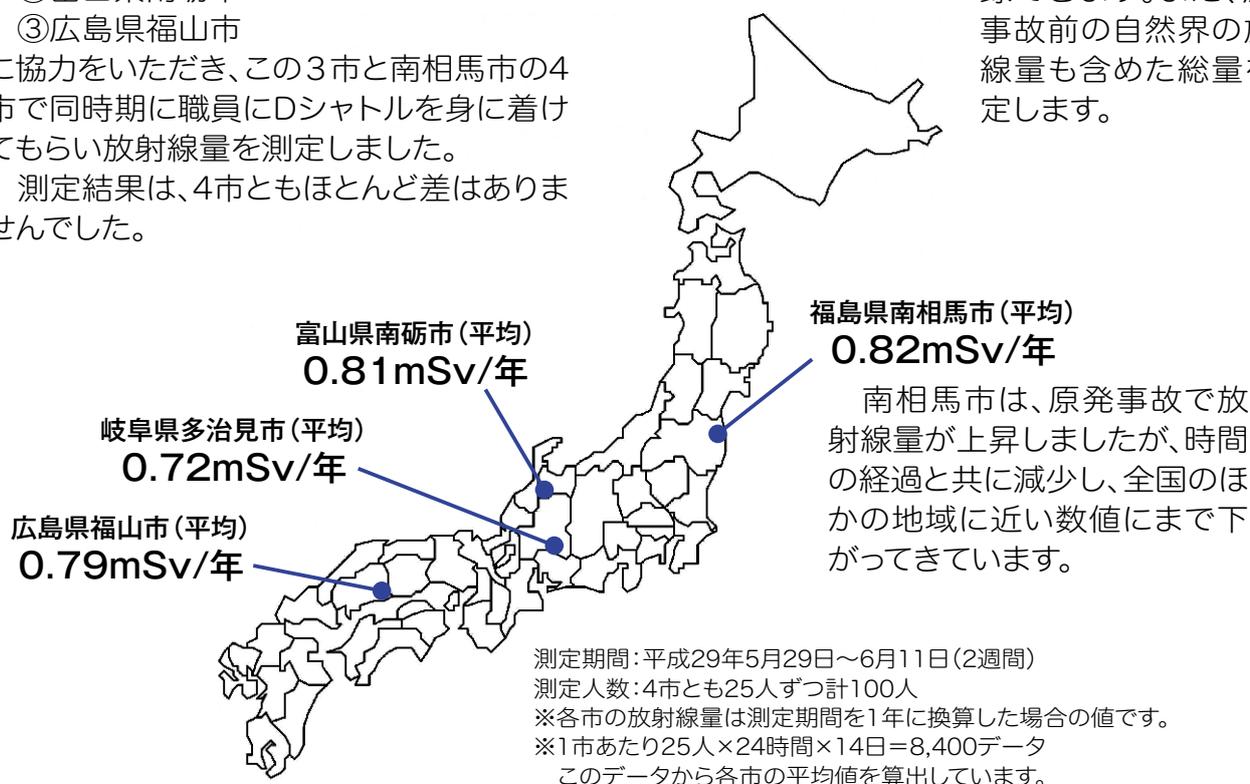
測定結果は、4市ともほとんど差はありませんでした。

Dシャトルとは

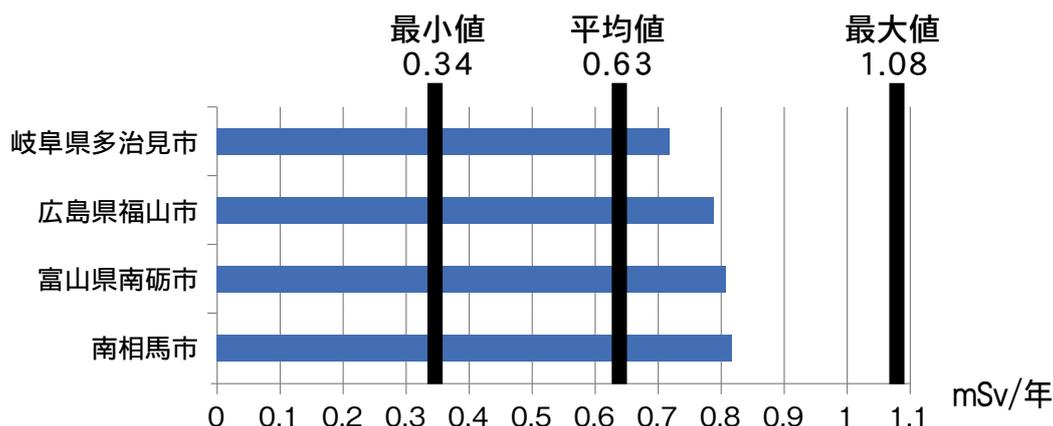


ガラスバッジと同様に首からぶらさげて放射線量を測定する小型の個人積算線量計です。

3か月単位で測定するガラスバッジと異なり1時間ごとの線量を記録できます。また、原発事故前の自然界の放射線量も含めた総量を測定します。



4市の年間の外部被ばく線量は、日本の平均と比べると少し高い値ですが、突出して高い値ではありません。原発事故前の外部被ばく線量の最大値より低い値です。



外部被ばく測定のご案内

ガラスバッジ未測定の方は是非測定を

市では、ガラスバッジを3か月単位で無料で貸し出し、外部被ばく線量を測定いただいています。一度も測定されたことがない方は、是非、ご利用ください。また、一度申し込みをされますと、その後は自動的に更新されます。

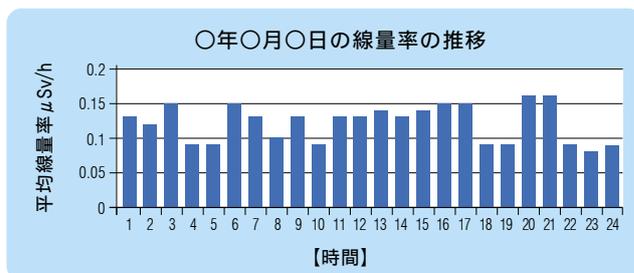


Dシャトル貸出し中

D(ディー)シャトルは、1時間単位で放射線量を測定できる小型の線量計です。1日の中でどこに居た時が一番高く、どこが一番低いか把握することができます。

一緒にお渡しする記録票に記録しておくことで、どこに居た時に多く被ばくしているのかを確認できます。

【測定期間】2週間程度



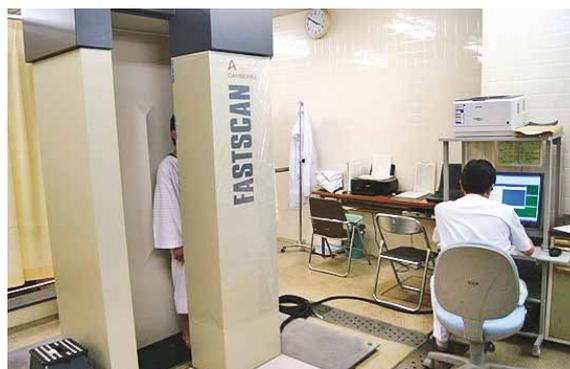
過去24時間の線量の状況が1時間単位で確認できます。

内部被ばく検診のご案内

市では、ホールボディーカウンターを用いた内部被ばく検診を実施しています。

- ・18歳以下は年2回
- ・19歳以上は年1回

無料で受けることができます。ご希望の方は、健康づくり課までご連絡ください。



立位式ホールボディーカウンター
(市立総合病院)

【申込み・問合せ】健康づくり課 ☎0244-24-5381

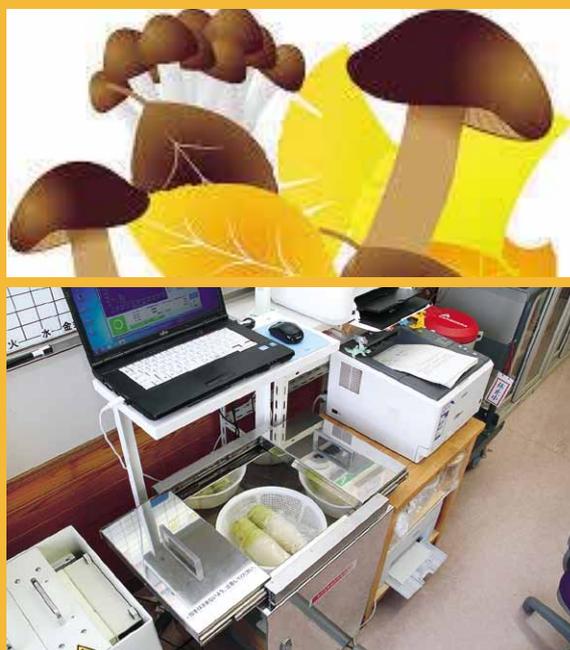
きのこは必ず測定を！

野生のきのこは、現在も放射性物質を多く含んでいる可能性があります。

このため、山で採ってきたきのこは、必ず測って基準値未満であることを確認してから食べるようにしてください。

市では、鹿島区・原町区の各生涯学習センターと小高区役所で、自家消費食品として自宅で作った野菜や山で採取した山菜・きのこなどの検査を行っています。以前は、食品を粉砕して検査する破壊式の検査機器しかありませんでしたが、現在は、食品をそのまま検査できる非破壊式の機器が全ての検査会場に設置されていますので、是非、ご利用ください。

【問合せ】生活環境課 ☎0244-24-5240



そのまま測れる非破壊式の検査機器